

中高生の生活実態に関する アンケート調査結果

令和4年3月



調査目的および主な調査内容

「ヤングケアラー」（本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供）に対する適切な福祉施策を検討する上での基礎資料とするため、県内における中学校及び高等学校の生徒の生活実態を下記のとおり調査した。なお、厚生労働省が令和2年度に文部科学省と連携して実施した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究（以下「国の調査」又は「全国調査」という）」の概要についても参考として掲載する。

	今回の調査	※参考 厚生労働省（文部科学省と連携）
調査名称	「中高生の生活実態に関するアンケート調査」	「中高生の生活実態に関するアンケート調査」
調査方法	無記名式アンケート調査 （学校に調査票を配布し、教室において回答、学校で取りまとめて回収）	調査対象の学校へ生徒本人向け・保護者向けの調査概要を郵送し、学校を通じて、生徒本人へ調査回答フォームのQRコード・URLを記載した調査概要を配布。Web上で回答URL回収を実施。 ※通信制高校では、学校から生徒への調査概要の配布について、メール等による配布を基本とした。
調査期間	令和3年10月～11月	① 中学生、全日制高校生、定時制高校生 令和2年12月21日～令和3年1月31日 ② 通信制高校生 令和3年1月26日～令和3年2月28日
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアラー自身について ・ケアの影響について ・求める支援について ・ケアの状況について ・ケアに関する相談について ・「ヤングケアラー」の認知度 など自由記述含む計28問	<ul style="list-style-type: none"> ・基本項目（性別学年等） ・家庭や家族のこと ・普段の生活のこと ・ヤングケアラーについて など、自由記述含む計23問
調査対象	県内の学校（国公私立）に在籍する以下の生徒を対象とした。 ①中学校2年生（義務教育学校8年生を含む。以下同じ） 125校 7,989人 ②全日制高等学校2年生 44校 7,436人 ③定時制高等学校2年生相当 10校 174人 計 15,599人	① 中学校 :全国の公立中学校の約1割にあたる1,000校を層化無作為抽出により抽出。対象校に在籍する中学2年生を対象とした。（約10万人） ② 全日制高校:全国の公立高等学校の約1割にあたる350校を層化無作為抽出により抽出。対象校に在籍する高校2年生を対象とした。（約6.8万人） ③ 定時制高校:公立の定時制高校を各都道府県により1校ずつ無作為抽出（計47校）し、在席する2年生相当の生徒を対象とした。 ④ 通信制高校:公立の通信制高校を各都道府県により1校ずつ無作為抽出（計47校）し、在席する生徒を対象とした。
回答者数	合計 14,237人（回収率91.3%） ・中学校2年生 7,309人（回収率91.5%） ・全日制高校2年生 6,805人（回収率91.5%） ・定時制高校2年生相当 123人（回収率70.7%）	合計 13,777人 ・中学校2年生 5,558人 ・全日制高校2年生 7,407人 ・定時制高校2年生相当 366人 ・通信制高校生 446人

※詳細については「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）を参照

総目次

第1部 単純集計	1
第1部 目次	2
問1 学校種別／問2 性別	3
問1／問2（学校種別構成の性別）	4
問3 現在住んでいる市町村	5
問4 健康状態	6
問5 欠席の状況	7
問6 遅刻や早退の状況	8
問7 部活動への参加状況	9
問8 平日の自宅での勉強時間	10
問9 一緒に住んでいる家族の構成	11
問10 家族のケアをした経験	12
問10 家族のケアをした経験（地域別）	13
問11 ケアを必要とする家族	14
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	15
問13 ケアの内容	16
問14 一緒に家族のケアをする人	17
問14 一緒に家族のケアをする人（類型化後）	18
問15 ケアの開始時期	19
問16 ケアの頻度	20
問17 ケアに要する時間（平日）	21
問18 ケアに要する時間（休日）	22
問19 自分の生活への影響	23
問19 自分の生活への影響（類型化後）	24
問20 ケアに関する悩みの相談経験	25
問21 （相談経験がある方）相談した相手	26
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	27
問23 （家族のケアの経験がない方） ケアをすることになった場合のケアの方法	28
問24 （家族のケアの経験がない方）ケアで困った場合の相談相手	29
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	30
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援（ケアの経験別）	31
問26 “ヤングケアラー”の認知度	32
問27 “ヤングケアラー”に係る自己認識	33
問28 自由記述①（アンケートに関する感想）	34
問29 自由記述②（意見・要望など）	35

第2部 「ケアに要する時間」に関するクロス集計	37
第2部 目次	38
性別ごと ケアに要する時間（平日）	（問2×問17） 39
ケアに要する時間（平日）別 健康状態	（問17×問4） 40
ケアに要する時間（平日）別 欠席状況	（問17×問5） 41
ケアに要する時間（平日）別 遅刻や早退の状況	（問17×問6） 42
ケアに要する時間（平日）別 部活動への参加状況	（問17×問7） 43
ケアに要する時間（平日）別 平日の勉強時間	（問17×問8） 44
ケアに要する時間（平日）別 一緒に住んでいる家族の構成	（問17×問9） 45
一緒に住んでいる家族の構成別 ケアに要する時間（平日）	（問9×問17） 46
ケアに要する時間（平日）別 一緒にケアをする人	（問17×問14） 47
一緒にケアをする人別 ケアに要する時間（平日）	（問14×問17） 48
ケアの頻度別 ケアに要する時間（平日）	（問16×問17） 49
ケアに要する時間（平日）別 自分の生活への影響	（問17×問19） 50
ケアに要する時間（平日）別 ケアに関する悩みの相談経験	（問17×問20） 51
ケアに要する時間（平日）別 ヤングケアラーに係る自己認識	（問17×問27） 52

第3部 より日常的にケアをしている層の絞り込み集計	53
絞り込み集計の内容	54
第3部 目次	55
「より日常的にケアをしている層」の抽出イメージ	56
問2 性別	57
問4 健康状態	58
問5 欠席の状況	59
問6 遅刻や早退の状況	60
問7 部活動への参加状況	61
問8 平日の自宅での勉強時間	62
問9 一緒に住んでいる家族の構成	63
問11 ケアを必要とする家族	64
問12 ケアを必要とする家族の主な課題	65
問13 主なケアの内容	66
問14 一緒に家族のケアをする人①	67
問14 一緒に家族のケアをする人②	68
問14 一緒に家族のケアをする人③（類型化後）	69
問19 自分の生活への影響①	70
問19 自分の生活への影響②（類型化後）	71
問20 ケアに関する悩みの相談経験	72
問21 （相談経験がある方）相談した相手	73
問22 （相談経験がない方）相談しなかった理由	74
問25 家族のケアを行う子供のためにあれば良いと思う支援	75
第4部 調査結果まとめ	77
調査結果まとめ	78～79

